



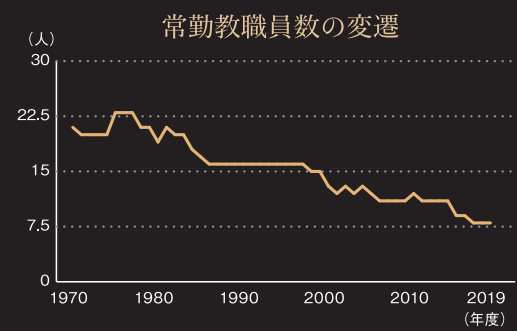
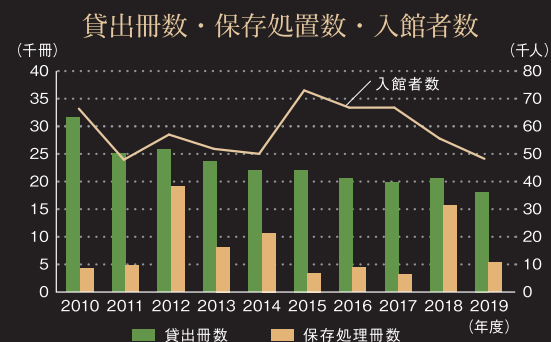
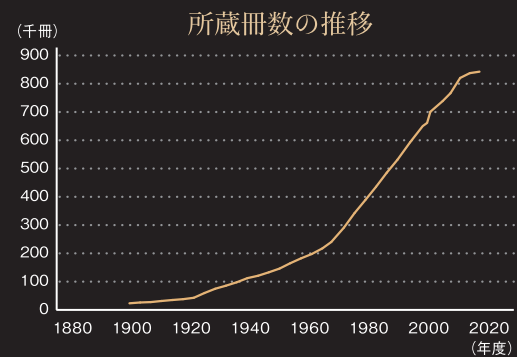
知のバトンを次世代へ

統計

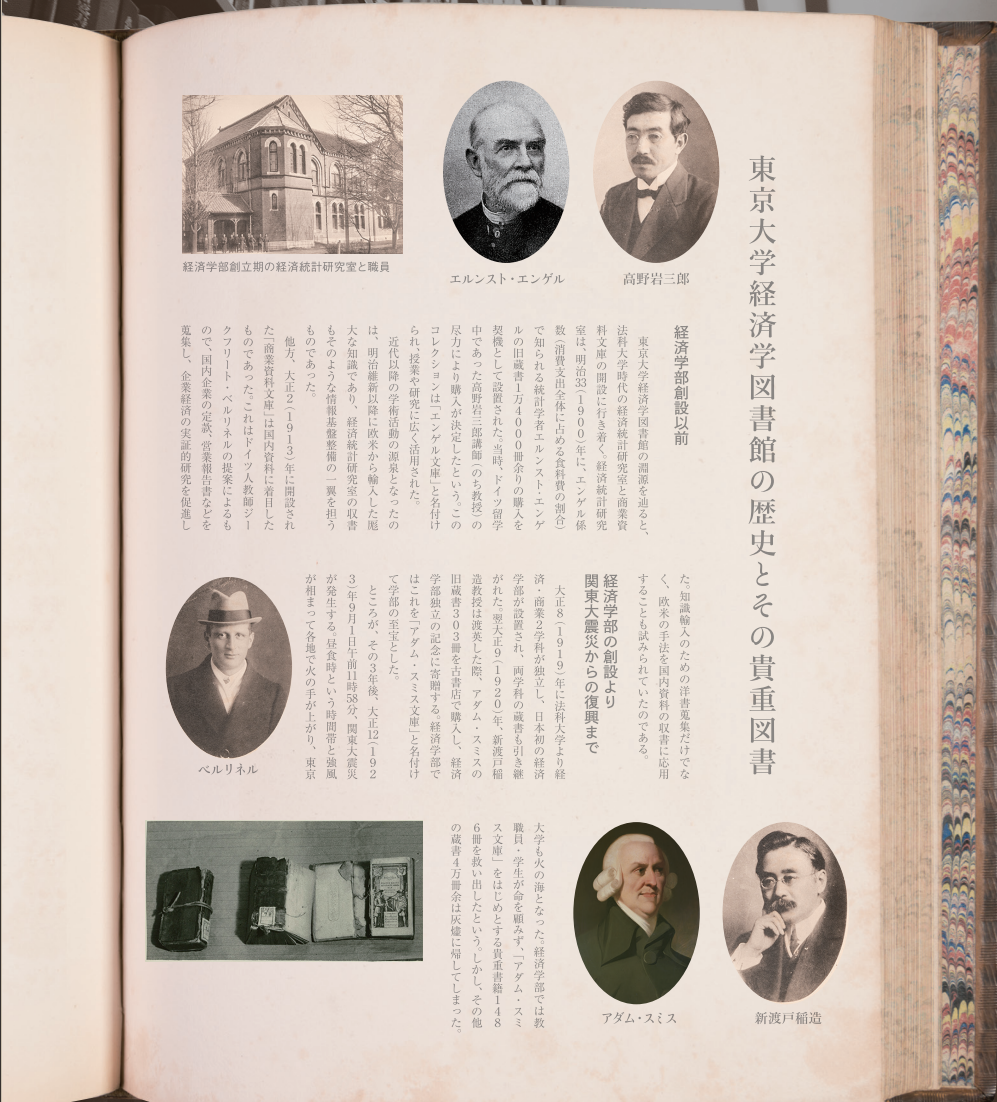
東京大学経済学図書館は、図書館機能を中心とする経済学図書館と、アーカイブ機能を基盤においた経済学部資料室という二部門からなっており、赤門総合研究棟と学術交流棟の二つの建物に分かれて機能しています。二部門をもって経済学研究の両輪とする図書館のあり方は、草創期の経済統計研究室と商業資料文庫の伝統を引き継いでいると言えます。

エンゲル文庫の 14,000 冊からはじまった蔵書も、120 年経って 84 万冊を超える規模になりました。入館者数と貸出冊数は暫時減少傾向にありますが、これは資料のデジタル化が進み、オンラインで図書館資料にアクセスできる体制が整いつつあるためと考えられます。経済学図書館・資料室は、この 10 年間に 3 万点以上の資料をデジタル化し、電子ジャーナルやデータベース類の整備も進めています。減少傾向とはいえ、ここ 10 年だけでも平均で年間 6 万人の利用者があり、2 万冊以上の館外貸出があります。一方で、資料の劣化が進み、保存処置(修理・補修・再製本・デジタル撮影・化学処理など)を必要とする資料は、年間の貸出冊数と同じくらいの量にのぼります。しかし、保存処置に要する費用は外部資金に大きく依存しているため、グラフから読み取れるように処置冊数は年によるばらつきが大きく、財政基盤は非常に不安定です。また、図書館・資料室の常勤教職員の数は、この半世紀だけみても半減しており、部分的に非常勤職員に置き換えられているとはいえ、デジタル化や資料保存などの新しい業務が増加する中で、決して十分な人員配置とは言い難い状況です。

東京大学経済学図書館・資料室には、120 年の歴史を有する分だけ、貴重な資料が多くあり、保存対策を急がなければ、情報を後世に残すことができません。このため、人材の育成・技術の開発・資料保存に関する基礎研究という三つの柱に力を入れ、その成果とともにこれらの重要性を様々な形で社会に発信しているところです。



東京大学経済学図書館 創設から120年のあゆみ



Anniversary of The Library of Economics The University of Tokyo 2020-2023

東京大学経済学図書館の歴史とその貴重図書

経済学部創設以前

東京大学経済学部の前身である、法政大学時代の経済研究部と商業資料文庫の開設は、1910年に、エンゲル文庫(1909年)と、エンゲル文庫(1910年)の購入、中野三郎(1910年)の設立、経済学部の創設に際して、エンゲル文庫と商業資料文庫の併合が行われ、経済学部の蔵書として統合された。

経済学部の創設

大正8年(1919年)に法政大学と経済学部の合併が行われ、日本の経済学部の創設に際して、エンゲル文庫と商業資料文庫の併合が行われ、経済学部の蔵書として統合された。

経済学部の創設後

大正8年(1919年)に法政大学と経済学部の合併が行われ、日本の経済学部の創設に際して、エンゲル文庫と商業資料文庫の併合が行われ、経済学部の蔵書として統合された。

貴重図書

エンゲル文庫、商業資料文庫、天竺山規則、社会保険と連帯サービス、イギリス鉄道関係資料、石川一郎文書、井上馨関係文書、ウィリアム・ホガース版画コレクション、営業報告書、大来佐武郎資料、大津真作旧蔵書、金井延資料、カネ二小松史料、華北交通資料、過燐酸石灰工業統制関係資料、旧東京銀行・横濱正金銀行調査部旧蔵資料、漁業関係文書、クナップ旧蔵書、経済安定本部資料、公企業会計関係資料、工鉱業関係会社報告書、鉱山史料、交水社資料、小運送関係鉄道省文書、古貨幣・古札コレクション、国鉄再建監理委員会資料、国民経済研究協会図書、国労関係資料、駒形村文書、証券処理調整協議会資料、昭和電工資料、職業紹介関係文書、白木屋文書、新左翼関係資料、政府審議会コレクション、戦時海運関係資料、台湾電力資料、土屋家旧蔵文書、土屋喬雄旧蔵資料、手塚弘保文庫、戸原四郎旧蔵書、中川幸次資料、西陣織物屋文書、日本製鉄関係資料、濱田徳海資料、眞板氏旧蔵鉄鋼資料、舞出長五郎旧蔵書、三菱経済研究所旧蔵資料、明治期社会経済文献、山一證券資料、横濱正金銀行資料、吉田力佐世保重工業関係資料、労働組合定期大会資料、脇村義太郎旧蔵書、篠原家文書、辰野金吾関係資料、田中家文書、深沢家文書

主な特殊コレクション

- アダム・スミス文庫
- エンゲル文庫
- オウエン文庫
- ケインズ/ハロッド書簡集
- 新渡戸稲造旧蔵書
- マルクス書簡
- メンガー文庫
- 秋丸次朗資料
- 浅田家文書
- 足尾銅山鉾毒問題コレクション
- 有江資料
- 有澤廣巳旧蔵書・資料
- イギリス鉄道関係資料
- 石川一郎文書
- 井上馨関係文書
- ウィリアム・ホガース版画コレクション
- 営業報告書
- 大来佐武郎資料
- 大津真作旧蔵書
- 金井延資料
- カネ二小松史料
- 華北交通資料
- 過燐酸石灰工業統制関係資料
- 旧東京銀行・横濱正金銀行調査部旧蔵資料
- 漁業関係文書
- クナップ旧蔵書
- 経済安定本部資料
- 公企業会計関係資料
- 工鉱業関係会社報告書
- 鉱山史料
- 交水社資料
- 小運送関係鉄道省文書
- 古貨幣・古札コレクション
- 国鉄再建監理委員会資料
- 国民経済研究協会図書
- 国労関係資料
- 駒形村文書
- 証券処理調整協議会資料
- 昭和電工資料
- 職業紹介関係文書
- 白木屋文書
- 新左翼関係資料
- 政府審議会コレクション
- 戦時海運関係資料
- 台湾電力資料
- 土屋家旧蔵文書
- 土屋喬雄旧蔵資料
- 手塚弘保文庫
- 戸原四郎旧蔵書
- 中川幸次資料
- 西陣織物屋文書
- 日本製鉄関係資料
- 濱田徳海資料
- 眞板氏旧蔵鉄鋼資料
- 舞出長五郎旧蔵書
- 三菱経済研究所旧蔵資料
- 明治期社会経済文献
- 山一證券資料
- 横濱正金銀行資料
- 吉田力佐世保重工業関係資料
- 労働組合定期大会資料
- 脇村義太郎旧蔵書
- 篠原家文書
- 辰野金吾関係資料
- 田中家文書
- 深沢家文書

取蔵品



ご寄附のお願い

東京大学 経済学図書館・経済学部資料室 支援基金

本館はこの 1 世紀以上の間、経済学の専門図書館として継続的な資料収集に努めてきました。今後も幅広い資料を収集し未来へと伝えてゆくために、資料の保存やデジタル化、専門家の養成などを進めていく所存です。こうした活動を続けるためにも、引き続き皆さまのお力添えを賜りたく、一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

皆様からいただいた寄附金は、次の 100 年を見据えた「知の継承」に必要不可欠な三つの柱や、具体的な保存処置に関する経費などに充てられます。

寄附はインターネット上での決済も可能です。詳細は直接お問い合わせいただくか、QR コードを読み取って専用ページにアクセスしてください。なお、本館への個人からの寄附は税制上の寄附控除の対象となります。また、寄附者の方々には東京大学経済学図書館・経済学部資料室よりイベント等のご案内を今後もお送りいたします。

知の継承 120th 2020-2023

専用ページ

東京大学経済学図書館創設 120年
アダム・スミス文庫 寄贈 100年
東京大学経済学部資料室創設 110年

知の継承

Pick up and Pass the "Baton" The Intellectual Heritage from Generation to Generation